

平成 29年 08月 31日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

かながわe家(カナガワイーイエ)

グループの名称

「かながわe家」会

直近採択グループ番号

04-0214-0289

(グループ代表者)

代表者名

白井 勇

代表者印

代表者所属先

一般社団法人神奈川県建築士事務所協会

代表者所在地

神奈川県横浜市中区不老町3-12-2F

代表者電話番号

045-228-0755

(グループ事務局)

事務局事業者名

一般社団法人神奈川県建築士事務所協会

事務局担当者名

磯部 崇

印

事務局郵便番号

231-0032

事務局所在地

神奈川県横浜市中区不老町3-12-2F

事務局電話番号

045-228-0755

事務局FAX

045-212-3807

事務局担当者E-mail

info@j-kana.or.jp



B. 平成29年度における補助対象の木造住宅の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	1	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確定(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確定(上限165万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確定	0	棟	/					
			0	m <sup>2</sup>						
		申請が未確定	0	棟						
			0	m <sup>2</sup>						
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	あらかじめグループ内で希望棟数について聞き取りをし、それに基づき補助金枠を配分する。また、枠が決まり次第グループ内で協議する。□									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
当初予算	採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) かながわe家(カナガワイイエ)	(地域型住宅供給対象地域) 神奈川県、東京都
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 「かながわe家」会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0214-0289	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	■耐震性能: 許容応力度計算(ルート1)で建築基準法の1.25倍以上を検証し提示する。 ■断熱等性能: 建築主等判断基準による外皮性能を計算し、併せて一次エネルギー消費量を提示する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	「多様な地域特性と消費者の多様な価値観をかたちにできる、設計事務所と工務店による住まいづくり」を目指しているため、建て方や様式は共通ルールとしない。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	「多様な地域特性と消費者の多様な価値観をかたちにできる、設計事務所と工務店による住まいづくり」を目指しているため、デザインルールは設定しない。	◎
④①～③の背景	■神奈川県は、近代都市・新興都市としての東部地域と農村地帯・山林地域が残る西部地域に分類でき、更に横浜、川崎・湘南・三浦半島・県央・県西など特性の異なる地域が多数存在し、独自の町並み景観がある。■神奈川県は流入人口も多く、県民性については県民のルーツが多岐にわたるため、一定の特性を見極めることは困難であるが、(一社)神奈川県建築士事務所協会は、全県を網羅した組織であり、8ブロック(横浜・川崎・横須賀・湘南・中・県央・相模原・県西)にそれぞれ地域特性を理解した設計事務所があるため、多様な地域性にも対応が可能である。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	技術的根拠を明確にし、消費者サイドに立った費用対効果を「見える化」した選択可能な住まいづくりを目指す。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 流通材の基本寸法とコストの低減を図る。断面形状は105 <sup>h</sup> ×ス・120 <sup>h</sup> ×スを基準とし、長さ3m・4m・5m・6m材を基本とする。 ※ 但し、許容応力度計算によってコストパフォーマンスが高いと示された材についてはこの限りでない。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 上記の通り	◎
①-3 標準仕様の設定	■ 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-1 建材・資材調達のコスト削減	■ 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: (一社)神奈川県建築士事務所協会の技術専門委員会及び木造専門委員会を設置し、多角的に検討を行う。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	■ ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: (一社)神奈川県建築士事務所協会の技術専門委員会及び木造専門委員会を設置し、多角的に検討を行う。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 工事監理ガイドラインをベースに(一社)神奈川県建築士事務所協会編集のチェックリストを用いて行い、併せてグループ作成の工事写真台帳(エクセル)を保管する。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 担当設計事務所による見積・積算の精査および一式見積の禁止	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	■ ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) かながわe家(カナガワイーイエ)	(地域型住宅供給対象地域) 神奈川県、東京都
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 「かながわe家」会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0214-0289	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ■仕様部材の耐用年数に基づく長期修繕計画の作成、計画の活用。	○
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ■住宅履歴情報は、既存サービスの情報システムを利用する。構成員は、その概要を事務局に報告する。	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ■担当設計事務所と担当工務店のチームによる定期点検を実施する。(2つの目線による点検)	○
	② メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅の維持保全計画書(30年管理)など既存サービスの情報システムを活用し、点検・メンテナンス時期を建築主に意識してもらうよう説明をする。	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅の維持保全計画書(30年管理)など既存サービスの情報システムを活用する。	◎
②-3	点検補修実施の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③ 住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-2	DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-3	その他の相談会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: (一社)神奈川県建築士事務所協会の技術専門委員会及び木造専門委員会を設置し、多角的に検討を行う。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b	① グループ構成員の倒産発生時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 倒産時・瑕疵発生時には、事務局が窓口になって連絡を受け、保険法人に誘導する。	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: (一社)神奈川県建築士事務所協会の指導委員会が主催する「調査鑑定研修会」に誘導する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: (一社)神奈川県建築士事務所協会の技術専門委員会及び木造専門委員会において研修会を企画運営する。	○
②-1	品質管理のための共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-1	需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: (一社)神奈川県建築士事務所協会の技術専門委員会及び木造専門委員会において研修会を企画運営する。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: (一社)神奈川県建築士事務所協会のHPおよび情報メールにて案内構成員必修講習会で誘導	◎
c	① 新たな技術等の導入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) かながわe家(カナガワイーエ)	(地域型住宅供給対象地域) 神奈川県、東京都
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 「かながわe家」会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0214-0289	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	
	①-2 地域材価格の共有の仕組	
	② グループ全体における地域材の需給予測	
c	①-1 畳の活用	
	①-2 和瓦の活用	
	①-3 襖の活用	
	①-4 障子の活用	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) かながわe家(カナガワイーイエ)	(地域型住宅供給対象地域) 神奈川県、東京都
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 「かながわe家」会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0214-0289	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

高度省エネ型(認定低炭素住宅):

発電等を考慮せずに、認定低炭素基準から5%以上の一次エネルギー消費量削減を目標とする。  
積極的な「通風の利用」を消費者に説明し、換気回数の多いプランニングを行うことを推奨する。

優良建築物型:

CASBEEでの評価を推奨する。  
可能な限り内装木質化に努める。